工賃向上計画書　参考様式（就継Ｂ　通期用）

作成日： 令和　7　年　4　月　1　日

令和　7　年度　工賃向上計画書（通期）

事業所（施設）名	おおぐち工房Ⅱ				事業種別	就労継続支援B型		
平均工賃の推移	前々年度（令和　5　年度）実績				前年度（令和　6　年度）実績			
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期
	月額	11,841	18,989	15,347	月額	16,202	20,786	18,509
	時間額	119	198	159	時間額	165	215	190
平均工賃の目標	今年度（令和　7　年度）目標				令和　7　年度以降の目標			
	期	上半期	下半期	通期	期	R　8　年	R　8　年	R　9　年
	月額	16,845	21,801	19,401	月額	19,700	20,200	20,700
	時間額	167	222	195	時間額	200	205	210

前々年度と比較した前年度の工賃支給状況					
	支払総額		（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向
	延べ工賃支払対象者数		（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向
	延べ勤務時間数		（　）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向
	平均工賃	月額	（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向
		時間額	（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向

前年度の作業種目及び収入実績	作業種目	前年度収入額	割合	傾向
	受託加工	542　千円	4　%	横ばい
	自主製造・販売	7,713　千円	58　%	増加傾向
	仕入・販売	千円	%	
	飲食	4,619　千円	35　%	増加傾向
	サービス	千円	%	
	役務（清掃等）	392　千円	3　%	横ばい
	他（　自主製品　）	6　千円	%	横ばい
	合計	13,272　千円	%	

前年度に工賃向上に効果を上げた具体 な事項	原材料が高騰したため商品が残らないよう販売数を管理した。外部販売の売り上げを把握し商品を提供した。内職作業が無くならないよう調整した。
工賃向上のためにクリアーしなければならない課題事項（複数回答可）	（　）販売品に魅力がない　（　）販売品種が少ない （○）販売先が限られている　（　）立地条件が悪い （　）受注単価が安い　（○）多量の注文が受けられない （　）他事業所とのネットワークがない （　）職員の作業負荷増大　（○）利用者の作業負荷増大 （　）職員のコンセンサス　（　）利用者特性 （　）その他（　）
工賃向上のために優先的にクリアーしなければならない課題の具体的な内容と対応策	原材料高騰に対する価格設定。 魅力的な商品作成。 新メニューの開発
今年度計画している改善（複数回答可）	（○）品質の向上　（　）販路開拓　（○）新商品開発 （○）他事業所とのネットワーク化　（　）内部努力 （　）作業種目の見直し　（　）職員の意識啓発 （　）神奈川県工賃向上支援事業への積極的な参加 （　）その他（　）
今年度計画している改善策の具体的な内容	魅力的なメニューの開発 販路拡大